

インターハイ予選大会

感染症予防のために

2021.6.27 実施

東京都高体連体操女子専門部

1. 初めに

緊急事態宣言は解除されましたが未だ感染の終息の目処は立たない中、役員一同、安心安全な大会開催を願い諸々の準備を進めております。万全を期してとは考えておりますが、役員とはいえ我々はプロのイベントコンサルタントではなく高校教諭です。担当教科の授業をし、校務分署の仕事をこなし、担任としてまた顧問として生徒と関わり、日々の激務をなんとかこなしているというのが現状です。そのような中、感染者が出た際の影響の大きさは長い休校期間を経て身にしみ感じております。感染症のリスクを負ったうえで、また選手たちの練習不足による事故やけがのリスクを負ったうえで大会を実施することが本当に教育的であるのか日々自問自答しております。万が一何か起きた際には我々だけでその責任を負いきれるものではありません。選手はもちろん、顧問、監督、保護者、学校といった大会を取り巻く人たちの協力と理解があって何とか大会運営が成り立ちそうだというギリギリのところであると認識してください。例年と同じような大会の実施は不可能であるのです。この実施要項にはたくさんのお願いと確認事項が載っています。どうか熟読の上「感染者を一人として出すわけにはいかない」という決意を我々と共有してください。よろしくお願いいたします。

2. 「都高体連主催事業再開に当たっての基本的考え方」

東京都のイベント開催や教育活動の方針（「新型コロナウイルス感染症対策と学校運営に関するガイドライン」等）に基づいて、部活動が学校教育の一環であることを踏まえ、以下の条件等が整い感染防止策を徹底することを開催の条件とします。

- ① 学校教育活動が継続され、大会参加に向けた部活動の練習が実施されている。
- ② 各専門部の事業は、感染防止対策を徹底した上で、競技特性に応じて実施する。
（※部活動が停止された場合は、中止または延期する。）
- ③ 各専門部は、本ガイドラインと競技別ガイドラインに基づいて、さらに感染防止対策を徹底する。
- ④ 参加校は、学校長の責任の下、参加生徒の健康観察及び保護者の内諾を得ることとする。
- ⑤ 大会は当面の間、原則として無観客の開催とする。

以上の観点から今大会では特に以下の対応をお願いします。

- ①⇒ 体操競技では十分な習得をしていない技を無理に実施することで、大きなけがにつながる危険性があると考えられます。部活が実施されていても大会に参加することが本当に適当であるか、選手はもちろん（選手は多少無理をしてでも参加したいと考えることが想定されます）指導者として顧問の判断も必要となります。慎重に判断をしてください。
- ④⇒ 「令和3年度東京都高等学校体育連盟主催事業における参加同意書」①、「体調管理表」②、「大会当日の行動表」③の保管（一か月間）をお願いします。
- ⑤⇒ 無観客での実施はもちろん、大会会場への入場も可能な限り少数人数が望ましいと考えています。入場できるのは、選手+2名までとします。

3. 大会開催時の感染防止策について

(1) 全般的な事項

- ① 大会等における新型コロナウイルス感染防止策について、運営側は本ガイドライン及び各中央競技団体によるガイドライン等による対策事項を適切に遂行管理する責任者を配置する（大会等が複数の会場で実施される場合には、会場ごと）また、参加校は参加者に対策を遵守させる責任者を配置する
- ② 感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（大会の受付場所等）に掲示する

- ③各事項が遵守徹底されているか会場内を定期的に巡回・確認する
- ④大会に参加する全ての者（選手・顧問・役員等会場内に入る者：以下参加者と表記）はマスクを着用するが、熱中症のリスクを考慮し状況に応じてはマスクをはずす
- ⑤万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、大会当日の全参加者を把握するとともに、記録し、保存期間（一ヶ月以上）を定めて保存しておく
- ⑥大会後の参加者の新型コロナウイルス感染に備え、当日の参加者へ直ちに連絡できる体制を整えておく

以上の観点から今大会では特に以下の対応を致します。

- ①⇒ 大会運営側に責任者を配置します。参加校の対策責任者を受付にてチェックします。
- ②⇒ 大会本部にチェックリストを掲示します。「感染拡大予防チェックリスト」参照
- ③⇒ 大会役員が定期的に巡回・確認します。
- ③⇒ 競技以外でのマスクの着用、審判席には、感染防止のためのアクリル板を設置します。
- ④⇒ 「令和3年度東京都高等学校体育連盟主催事業における参加同意書」①、「体調管理表」②、「大会当日の行動表」③を学校ごとでまとめて保管（一か月間）します。
- ⑤⇒ 「緊急事案発生時における連絡体制」（別紙）参照

以下項目はHP「新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン（東京都高体連）」参照

- (2)大会参加校が遵守する事項
- (3)大会会場で準備すべき事項
- (5)参加者の中に感染が判明した場合の対応

《一部抜粋》

- (4)大会運営上の留意点
 - ⑥ 競技中使用した用具は、適宜消毒する
⇒体操器具は消毒が出来ないため、各自演技前、演技後の手指消毒を徹底する

《インターハイ予選において》

- ・今大会において、セッティング・カッティングはありません。
- ・会場には、学校ごとにまとまって入場する。 ※入場できるのは、選手+2名までとする。
- ・入場時に検温・手指消毒・各校感染対策責任者の確認をする。
- ・更衣室は各校決められた人数ごとに利用すること。更衣室利用時間短縮の為、簡単な着替えで済むように工夫すること。 ※トイレや会場内での着替えはしない。
- ・手指消毒用のアルコール等は各学校で準備すること。
器具の消毒ができない為、各自こまめに消毒をすること
- ・練習、試合時以外はマスク着用。
熱中症対策の為、密が避けられる場所では着用しなくても良い。各校顧問が判断してください。
- ・滑り止め用の炭酸マグネシウム・霧吹きは各学校で用意すること。
- ・ゴミは必ず持ち帰ること。
- ・引率顧問は、自校の生徒が全員退館したことを確認してから退館すること